



2025 Super FJ Race report

Super FJ 鈴鹿・岡山シリーズ 第6戦



SUZUKA CHAMPION CUP RACE

2025年12月6-7日 天候:晴れドライ 参加25台



スーパーFJ 地方選手権鈴鹿・岡山シリーズもいよいよ最終第6戦を迎える。12月6日には翌7日の決勝に向けて公式予選が行われた。

シリーズリーダーはここまで82ポイントを獲得している酒井翔太選手(ファーストガレージ KK-S2)。ランキング2位には吉田馨選手(TAKE FIRST KKS-2)の67ポイントで続き、その差は15ポイント。一見大きく見えるが、有効ポイント制のため、1戦リタイアしている吉田選手に全ポイントが加算されるのに対して、全戦表彰台に登っている酒井選手は1戦分が加算対象から外れる。そのため吉田選手は優勝すればたとえ酒井選手が2位入ってもチャンピオンを獲得できる。

公式予選

公式予選は午後2時40分から20分間で行われた。鈴鹿は早朝より小雪が舞うほど冷え込んだが、天候は回復し、快晴となると徐々に気温は上昇。それでも日陰に入ると底冷えする寒さだ。

参加台数25台(うちジェントルマンクラス4台)がコースイン。ポイントリーダーの酒井選手は、もっとも最終コーナー寄りのピット位置だったため、トラフィックを避けるため最後にコースに出た。気温が低いため各車2~3周をウォームアップに当てる。

4周目、ランキング2位の吉田選手が2分14秒246をたたき出しトップに躍り出る。2位は宮本颶斗選手(MYST KKS2)の14秒920だが、吉田は早くも大きなリードを築く。3位には杉田悠真選手

(LAPS with REV RACING GARAGE)が続く。

6周目、吉田のタイムは変らず。地元鈴鹿在住の鈴木七瀬選手(ネットトヨタ三重 with FORM)が2分14秒654で2位に浮上。3位には酒井選手が14秒818で徐々にタイムアップしてきた。

7周目、酒井選手がさらにタイムを縮め鈴木選手をかわし2位に浮上。鈴木選手3位、宮本選手が4位に続く。

8周目、吉田選手は2分14秒215と若干タイムを縮めトップを堅守。2位酒井選手、3位鈴木選手、4位には西田光来選手(FTK・REV RACING GARAGE)が浮上してきた。宮本選手5位、前回優勝の箕浦稜己選手(MYST SEIDOYA KK-SII)が6位につける。

予選終了直前の9周目、箕浦選手が2分14秒597で鈴木選手と宮本選手をかわして3位にジャンプアップ。

予選終了。ポールポジションは吉田選手、2位酒井選手、3位箕浦選手、4位鈴木選手、5位西田選手、6位宮本選手と続いた。しかし、酒井選手が出したベストタイムは、スプーンでのトラックリミットペナルティーを受けタイム抹消。酒井選手は6位に降格となった。

この結果、ポールポジションは吉田選手、2位箕浦選手、3位鈴木選手、4位西田選手、5位宮本選手、6位酒井選手という順で予選を終えた。

ジェントルマンクラスは、総合で14位につけた山根一人選手(光精工 TK-Sport MYST)がポールポジションを獲得した。

決勝は明日7日、午後1時55分より10周で行われる。吉田選手が優勝すれば逆転チャンピオン。酒井選手は吉田選手の前でゴールしなければチャンピオンを逃がす。2人のチャンピオン争いに注目だ。

ポールポジション 吉田馨選手(TAKE FIRST KKS-2)

「最高の滑り出しだったですね。先週のもてぎで酒井選手にやられたので、その分をここで取り返そうと思います。出ていったときにトラフィックで引っかかっていて、タイヤが暖まったときに前との間隔を離して一発出しました。そこからは集団を抜きながらどこかでタイムを縮めればと思っていました。最初から最後まで安定したラップを刻めるので、クルマは決まっています。あしたはポールからなのでぶつちぎりで勝ちたいと思います」



2位 箕浦稜己選手(MYST SEIDOYA KK-SII)

「あまり調子がよくなくてぎりぎり攻めていたんですが、タイムが上がりませんでした。前回の富士から調子がよくなくて今回もこんな感じです。トップと差はありますが、2位だったのはよかったです。決勝で合わせ込めたらと思います。SCが出たらなんとか行けるかも知れません」



3位 鈴木七瀬選手(ネットトヨタ三重 with FORM)

「タイヤを温めるために最後から出て行ったんですが、タイミングよく暖まったときに前が開けて走りました。チームが作ってくれたセッティングが合っていて狙い通りでした。今まで予選が5位、決勝4位が最高位でしたが、ひさびさのセカンドローなので、気負わざいきたいと思います」



決勝レース



スーパーFJ 地方選手権鈴鹿・岡山シリーズ最終第 6 戦は 12 月 7 日、鈴鹿サーキットで決勝が行われた。泣いても笑っても最後のレース。このレースで今シーズンのチャンピオンが決定する。

決勝は午後 1 時 55 分にフォーメーションラップが始まった。天候は快晴で、昨日に比べ気温も上がり気味。初冬の鈴鹿は穏やかな気候のなかで決勝を迎えた。25 台(うち 4 台はジェントルマンクラス)が参加したが、後方の堀隼登選手(レヴレーシングガレージ #3)が動けず、ピットに押し戻されピットスタートとなつた。

好スタートを切ったのはポールポジションの吉田選手でトップで 1 コーナーへ向かう。予選 2 位の箕浦稜己選手(MYST SEIDOYA KK-SII)は加速が悪く、同 3 位の鈴木七瀬選手(ネツツトヨタ三重 with FORM)が 2 位に上がる。逆に抜群のスタートを切ったのが予選 6 位でチャンピオンを争う酒井選手。酒井選手はイン側から素晴らしい加速で前車をパスし 4 位に上がると、1 コーナーで 3 位に後退していた箕浦選手を捉えて 3 位に上がった。4 位に落ちた箕浦選手の後ろには 5 位の西田光来選手(FTK・REV RACING GARAGE)が続く。

その後方では 6 位争いをしていた土橋皇太選手(Rn-sports 制動屋 KK-S2)と板倉慎哉選手(AMORE TOKYO☆表参道☆KKSII)が S 字コーナーで接触。イン巻きしてきた板倉選手と宮本颶斗選手(MYST KKS2)も絡んで 3 台がコースアウトした。3 台とも順位を落としたもののコースに復帰したため、セーフティーカー(SC)が導入されることはなかった。

またデグナーではデビューレースを予選 13 位からスタートした田崎脩馬選手(制動屋 MYST)がスピン。レースに復帰したものの最後尾近くまで順位を落とした。

トップに立った吉田選手は早くも後続を引き離しにかかる。2 位争いは、鈴木選手、酒井選手、箕浦選手の 3 台が接近戦。シケインでは酒井選手が鈴木選手のインを差し 2 位に上がった。酒井選手はオープニングラップで予選順位の 6 位から 2 位まで順位を上げた。

1 周目、トップ吉田選手は後続を 1 秒 4 離して戻ってきた。2 位酒井選手、3 位鈴木選手、4



位箕浦選手、5 位西田選手で、6 位にはオープニングラップの混乱をかわした杉田悠真選手(LAPS with REV RACING GARAGE)が上がってきた。

3 周目、トップ吉田選手は 2 位の酒井選手を 1 秒 7 離した。3 位鈴木選手、4 位箕浦選手だが、ペースの上がらない西田選手が 1 コーナーで杉田選手にかわされ 6 位に落ちた。



4 周目、総合 9 位と健闘していたジエントルマンクラスのトップ山根一人選手(光精工 TK-Sport MYST)が S 字コーナーでクラッシュ。山根選手のマシンの排除のため SC が導入される。これで吉田選手のリードは水泡に帰す。SC は 6 周終わりでピットイン、レースは 7 周目から再開された。

リスタートでは、トップ吉田選手が 130R を立ち上がってから加速。吉田選手はシケイン立ち上がりの加速がよく、

2 位酒井選手とのギャップを作りコントロールラインを通過。3 位には鈴木選手が続くが、4 位箕浦選手と 5 位杉田選手はテールトゥノーズ。1 コーナーで杉田選手はインから箕浦選手をパスして 4 位浮上、箕浦選手は 5 位に落ちた。しかし箕浦選手も負けていない。130R では杉田選手のアウトから並びかけシケイン手前で 4 位を奪い返した。

7 周目、トップ吉田選手は 2 位酒井選手を 1 秒 1 差に従えて戻ってきた。吉田選手をパスしないと戴冠できない酒井はなんとしても吉田選手を捉えたいところだがその差は縮まらない。

8 周目、トップ吉田選手と 2 位酒井選手の差は 1 秒 2 と開く。3 位鈴木選手はさらに 1 秒 6 後方だが、その後ろには 4 位争いを演じてきた箕浦選手と杉田選手が迫り、やがてこの 3 台はワンパックとなった。6 位にはペースの上がらない西田選手をかわした藤井翔太選手(Drago CORSE)が上がる。

トップ吉田選手は盤石の走りで 2 位の酒井選手を徐々にリード。10 周を回って今季 3 勝目、初のポールトゥウインを飾った。2 位は酒井選手が続いた。3 位争いの鈴木選手、箕浦選手、杉田選手は互いに決め手がなくこのままの順位のままゴール。6 位には大きく遅れて藤井選手が入った。

マスタークラスは総合で 16 位に入った中嶋匠選手(AVIATOR A ONE)が優勝した。

優勝した吉田選手は優勝ポイント 20 を加え、選手ポイントを 87 に伸ばした。一方、酒井選手は有効ポイント制のため 3 ポイントしか加算できず 85 ポイント。このため鈴鹿・岡山シリーズのチャンピオンは 2 ポイントという僅差で吉田選手の頭上に輝いた。

また全戦がポイント対象となる鈴鹿独自のチャレンジカップレースチャンピオンは、全戦で表彰台に登った酒井選手が獲得した。



このレースをもって今シーズンの鈴鹿・岡山シリーズは終了。この後、12 月 20~21 日はスーパーFJ 日本一決定戦が富士スピードウェイで開催される。各ドライバーが「目指すのは日本一決定戦の優勝」と口をそろえるクリスマス前の熱い戦いに注目だ。



優勝・シリーズチャンピオン 吉田馨選手(TAKE FIRST KKS-2)

「初動は自信があって、スタートしてから後ろを引き離せました。SC が入ってマージンがなくなって、やばいかなと思ったんですが、自分の気持ちをうまくコントロールでき、リスタートを決められました。そこからのペースは自信があったので、落ち着いて走れたと思います」

「酒井選手が 1 周目で 2 位に上がってきたので、びびったところはありましたが、ぼくの方がペースは速いと思って走っていました」

「今シーズン初戦は優勝できたのですが、その後は、これだけ速い選手がみんな前にいるという状況で、厳しかったです。今回やっとポールポジションを取れて、みんながいるなかの 1 位になれたので、素直にうれしいです。日本一決定戦は 1 年間の目標なので取りに行きます」

2 位 酒井翔太選手(ファーストガレージ KK-S2)

「JAF 戦がメインだったのでめちゃ悔しいです。どんな順位であればくが吉田選手の前にいないといけなかったのに、昨日の予選から流れが悪くなってしまいました。自分のミスだったのでそこは反省しないといけないです」

「スタートで後ろについてやろうという気持ちがすごくあったので、それはいけましたが、やっぱり吉田選手が序盤から速くて、厳しいレースでした」

「S-FJ 全シリーズチャンピオンを目指していたんですが、もてぎ・菅生、オートポリスはチャンピオンで、筑波・富士、鈴鹿・岡山が 2 位でした。途中までいい流れできていたのに、巻き返されたのはすごく悔しいです。日本一でもうひとつタイトルを取って悔しい気持ちを晴らしたいと思います」

3 位 鈴木七瀬選手(ネットトヨタ三重 with FORM)

「スタートは過去を含めてもイメージ通りで 1 コーナーに 2 位で入れたんですが、ペースが苦しくて守りの展開になりました。楽な展開ではなかったですが、表彰台に上がれたのはワンステップできてよかったです」といます。セーフティーカーとか後ろが競ってたので、そういう展開にも助けられたと思います。東コースで詰められましたが、西コースが速かったのでそこは自信をもってセーフティーカー明けから走っていました。日本一は出る予定はないので、来年に向けて準備をしたいと思います」



ジェントルマンクラス 3位/古里 拓選手 1位/中嶋 匠選手





2025 SUZUKA CHAMPION CUP Final Round



Super F1

2025 鈴鹿・岡山選手権シリーズ第6戦

No 20

2025 / 12 / 6 16:15

SUZUKA CIRCUIT

正式結果表

Weather : Fine

Track : Dry

Full Course 4-Wheels(5,807m)

スーパー F1 公式予選

Pos	No	Class	C.P.	Name	Team/Car	Type	Tire	Best Time	Gap	Lap
1	6			吉田 駿	TAKE FIRST KKS-2	KK-S II	DL	2'14.215		8 / 9
2	56			箕浦 梢己	MYST SEIDOYA KK-S II	KK-S II	DL	2'14.597	0.382	9 / 9
3	18			鈴木 七瀬	ネクタヨタ三重 with FORM	KK-S II	DL	2'14.654	0.439	0.057
4	8			西田 光来	FTK-REV RACING GARAGE	KK-S II	DL	2'14.687	0.472	0.033
5	12			宮本 風斗	MYST KKS2	KK-S II	DL	2'14.724	0.509	0.037
6	22			酒井 翔太	ファーストカーレージ'kks2	KK-S II	DL	2'14.818	0.603	0.094
7	55			板倉 優哉	AMORE TOKYO☆表参道☆KKS II	KK-S II	DL	2'14.969	0.754	0.151
8	10			杉田 悠真	LAPS with REV RACING GARAGE	KK-S II	DL	2'15.076	0.861	0.107
9	11			土橋 皇太	Rn-sports制動屋KK-S2	KK-S II	DL	2'15.098	0.883	0.022
10	34			藤井 翔大	Drago CORSE	KK-S II	DL	2'15.108	0.893	0.010
11	13			武者 利仁	KF MOTORSPORT KKS-2	KK-S II	DL	2'15.206	0.991	0.098
12	61			一宮 総太朗	MYST KK-S II	KK-S II	DL	2'15.467	1.252	0.261
13	21			Tasaki Shuma	制動屋 MYST	KK-S II	DL	2'15.787	1.572	0.320
14	47	G	1	山根 一人	光精工 TK-Sport MYST	KK-S II	DL	2'15.800	1.585	0.013
15	19			太田 握壇	MYST 制動屋 KK-S II	KK-S II	DL	2'16.325	2.110	0.525
16	5			河野 晃大	レグレーシング'ガレージ	KK-S II	DL	2'16.325	2.110	0.000
17	17	G	2	中嶋 匠	AVIATOR A ONE	KK-S II	DL	2'16.407	2.192	0.082
18	50			伊藤 聖七	KK-S II	KK-S II	DL	2'16.530	2.315	0.123
19	57			Shinnosuke Azuma	リンクセルモMYST/ORM	KK-S II	DL	2'16.614	2.399	0.084
20	3			堀 雄登	レグレーシング'ガレージ #3	KK-S II	DL	2'16.646	2.431	0.032
21	37			阪本 一世	免許とるなら大阪サケマ☆EAGLE	KK-S II	DL	2'16.980	2.765	0.334
22	4	G	3	古里 拓	FLEETレグレーシング'ガレージ	KK-S II	DL	2'17.248	3.033	0.268
23	9	G	4	上吹越 哲也	FTK-レグレーシング'ガレージ	KK-S II	DL	2'17.713	3.498	0.465
24	59			村上 太晟	ファーストカーレージ'KK-S2	KK-S II	DL	2'18.455	4.240	0.742
25	72			久保 直也	AQUA-NUTEC/たーはまRC	WEST07J	DL	2'19.675	5.460	1.220

**** 以上予選通過 (2'54.835 - 130%) ****

※G...ジェントルマンクラス

Start Time:14:40'00 Finish Time:15:00'00

Entry :25 Start :25

当該タイムを採用しない (SUZUKA CHAMPION CUP RACEシリーズ規則第58条6) (走路外走行)
 No.50(2'18.894, 2'16.479), No.3(2'19.566, 2'18.256, 2'16.895, 2'17.805, 2'17.559), No.55(2'15.878), No.10(2'14.862, 2'15.030, 2'14.816),
 No.21(2'18.480), No.57(2'18.784, 2'17.147), No.61(2'16.605), No.11(2'15.531, 2'15.198, 2'16.051), No.37(2'17.508),
 No.22(2'15.391, 2'14.567, 2'14.857), No.34(2'15.603), No.56(2'17.619), No.6(2'14.313), No.13(2'15.046)

スーパー FJ 決勝

2025/12/7 15:30



SUZUKA CIRCUIT

Full Course 4-Wheels(5,807m)

正式結果表

Weather :Fine
Track :Dry

Pos	No	Class	C.P.	Name	Team/Car	Type	Tire	Lap	Total Time	Gap	Best Time	
1	6			吉田 駿	TAKE FIRST KKS-2	KK-S II	DL	10	26'12.130		2'14.392	
2	22			酒井 駿太	ファーストカレージ'kks2	KK-S II	DL	10	26'13.666	1.536	2'14.585	
3	18			鈴木 七瀬	ネックヨタ三重 with FORM	KK-S II	DL	10	26'16.236	4.106	2'15.067	
4	56			箕浦 稔己	MYST SEIDOYA KK-S II	KK-S II	DL	10	26'16.569	4.439	0.333	
5	10			杉田 悠真	LAPS with REV RACING GARAGE	KK-S II	DL	10	26'17.344	5.214	0.775	
6	34			薗井 駿大	Drago CORSE	KK-S II	DL	10	26'20.642	8.512	3.298	
7	61			一宮 純太朗	MYST KK-S II	KK-S II	DL	10	26'20.874	8.744	0.232	
8	8			西田 光来	FTK-REV RACING GARAGE	KK-S II	DL	10	26'22.045	9.915	1.171	
9	13			武者 利仁	KF MOTORSPORT KKS-2	KK-S II	DL	10	26'24.722	12.592	2'15.641	
10	11			土橋 皇太	Rn-sports 制動屋KK-S2	KK-S II	DL	10	26'27.856	15.726	3.134	
11	57			Shinnosuke Azuma	サンセルMYST/ORM	KK-S II	DL	10	26'28.031	15.901	0.175	
12	55			板倉 傲哉	AMORE TOKYO☆表参道☆KKS II	KK-S II	DL	10	26'30.720	18.590	2.689	
13	12			宮本 雄斗	MYST KKS2	KK-S II	DL	10	26'31.188	19.058	0.468	
14	19			太田 握増	MYST 制動屋 KK-S II	KK-S II	DL	10	26'35.973	23.843	4.785	
15	37			阪本 一世	免許とるなら大阪サヤマ☆EAGLE	KK-S II	DL	10	26'36.594	24.464	0.621	
16	17	G	1	中嶋 匠	AVIATOR A ONE	KK-S II	DL	10	26'37.268	25.138	0.674	
17	5			河野 晃大	レウ'レーシング'カ'レージ'	KK-S II	DL	10	26'38.231	26.101	0.963	
18	9	G	2	上吹越 哲也	FTK-レウ'レーシング'カ'レージ'	KK-S II	DL	10	26'38.639	26.509	0.408	
19	59			村上 太晟	ファーストカ'レージ'KK-S2	KK-S II	DL	10	26'39.254	27.124	0.615	
*1	20	21		Tasaki Shuma	制動屋 MYST	KK-S II	DL	10	26'41.577	29.447	2.323	
21	72			久保 直也	AQUA-NUTECだーはまRC	WEST07J DL	10	26'42.979	30.849	1.402	2'19.417	
22	4	G	3	古里 拓	FLEETレウ'レーシング'カ'レージ'	KK-S II	DL	10	26'57.058	44.928	14.079	2'17.811
*2	23	50		伊藤 哲七	KK-S II	KK-S II	DL	10	26'57.366	45.236	0.308	2'16.497
24	3			堀 隼登	レウ'レーシング'カ'レージ' #3	KK-S II	DL	9	26'40.962	1Lap	1Lap	2'17.750
***** 以上完走 (規定周回数 9Laps) *****												
47	G			山根 一人	光精工 TK-Sport MYST	KK-S II	DL	3	6'56.733	7Laps	6Laps	2'16.889

Fastest Lap

2'14.392 (9 / 10)	155.554 km/h	6 吉田 駿 / TAKE FIRST KKS-2
G 2'16.889 (2 / 3)	152.716 km/h	47 山根 一人 / 光精工 TK-Sport MYST

Start Time :14:00'13 Finish Time :14:26'25

Entry :25 Start :25 Finish :24

※G...ジェントルマンクラス

SC導入時刻 :14:08'07(3Laps)~14:17'26(6Laps)

*1 No.21は、タイムペナルティ10秒 (SUZUKA CHAMPION CUP RACEシリーズ規則 第62条1)⑧ (ホワイトラインカット)

*2 No.50は、競技結果に對して30秒加算 (国際モータースポーツ競技規則 付則H項 2.10.10(SCリスタート時の追越し))